

2025~26年度 RI第2650地区

創立 昭和36年6月28日

承認 昭和36年8月 3日

勝山ロータリークラブ週報

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地

TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL : <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama>

Email:katsuyamarc@gmail.com

■会長 滝川博則 ■幹事 辻利津子

編集発行・文責 公共イメージ委員会

会長メッセージ

～縁（えにし）を継ぐ～



第3094回 例会 (9月16日)

●会長スピーチ



会長 滝川 博則

9月9日のガバナー公式訪問ならびに大野勝山合同懇親会の例会、お疲れ様でした。当日の準備設営には多くの会員の皆様にご協力いただきました。心から御礼申し上げます。

小崎ガバナーとの会長幹事懇談会ではガバナーより小さくとも一丸となって活動している事に賛辞をいただきました。

また恐竜という強烈なコンテンツをもつ勝山での今後のロータリー活動に期待しておりますとのエールもいただきました。

ガバナーへの謝辞でも申し上げましたが、「伝統を守るための変化」を肝に銘じて今後の活動に向き合って行こうと思います。

大野勝山合同懇親会は幅田委員長に大変ご尽力いただき、大変楽しい時間をすごさせていただきました。また山内会員の娘さんたちのパフォーマンスにはもう拍手喝采。最高でした。

大野ロータリークラブの皆さんからも感激と感動のお声をいただいております。本当にありがとうございました。

その翌日10日から13日まで教育会館にて本年度の理科作品展の審査ならびに展示が行われました。

私も会場に行き作品をみさせていただきましたが、例年のごとく色々な視点で収集、研究されており、感服した次第です。

担当の先生からは小学生金賞受賞18名、中学生は4名とのご報告を受けました。

本日は勝山の地にてブレイクダンス文化にご尽力いただいておられる中村剛様の卓話です。思い返すに中村様には2016年12月のクリスマス家族例会にご協力いただいております。

今日は中村様の現在のご活躍のお話が聞ける事を大変楽しみしております。

幹事 辻 利津子

小崎ガバナー

○公式訪問お礼

○IM本日登録締め切りです。

○例会終了後理事役員会を開催します。

◆到着物

○2024-25年度職業奉仕講演会報告書レポート

●委員会報告

●国際奉仕委員会

鷺田 政憲

ボーズマンサンライズRC訪問について

●SAA

次回例会は10月7日です。会場設営はAグループです。

●出席報告

9月16日	欠席1名	95.65%
9月9日	欠席7名	68.18%

●ニコニコ報告

公式訪問を無事終えて 協力に感謝

アメリカ行きます

ボーズマン訪問参加に感謝

山内 智子

笠松 誠一

滝川博則

滝川博則

辻利津子

会員のコーナー

幅田浩二 会員



オシャレなベーグルの店を見つけました、これからもパン屋巡りを続けます。皆さんも、良い店がありましたら、ぜひ教えてください。



本日 プログラム	会員卓話 10月14日 プログラム	ゲスト卓話 米山奨学生	10月21日 プログラム	ボーズマンライズRC 交流報告会	10月28日 プログラム	ゲスト卓話 竹田式体操
-------------	-------------------------	----------------	-----------------	---------------------	-----------------	----------------

ゲスト卓話

ブレイキンワークショップ&トーク

中村 剛 氏



中村 剛 氏

勝山出身のプロダンサー。成器南小学校、南部中学校、勝山高校を経て、金沢の大学でダンスを開始。25年のキャリアを持ち、東京でプロダンサーとして活動後、世界的なチームに所属し、世界大会で準優勝などの実績を持つ。

現在は勝山と福井市でダンススタジオ「アドバンスター」を経営し、約150人の子供たちを指導している。パリオリンピックの正式種目になったことで、ブレイキングを含むストリートダンスがさらに広がる可能性に言及した。

中学生の頃、「なぜ勝山を好きにならないといけないのか」と大人に問いかけ、困らせたエピソードを披露。

43歳になった今、勝山に住んでいること自体が答えだと感じており、当時の方に謝りたいと述べた。

参加者一人ひとりが健康でいることが、勝山の発展に繋がると強調。天野先生のように何か憧れを持って頑張ってほしいと締めくくった。



天野 義廣 氏

76歳のブレイカー。15年前に中村氏のスタジオでダンスを開始。SNS (B-BOY AMANO) でも積極的に活動しており、世界中のダンサーから注目されている。

自身は不健康で医者通い、薬の服用、昼寝、貧血などがあると語った。

15年前、60歳を過ぎてからダンスを開始。元々は体育が苦手で劣等生だったが、幼少期に見た「空中回転」の技に衝撃を受け、アクロバティックな動きへの憧れが原動力となった。ジャッキー・チェンやブレイクダンスの流行、体操競技などを通じて、ビデオを繰り返し見て独学で練習を重ねた。

国語の教師だったが、現在は読書よりもスマホでダンス動画をチェックし、SNSで発信している。

「劣等感」を「憧れ力」に変え、好きなことを追求することが生き甲斐であり、健康の秘訣であると語った。練習は面白くないが、気持ちが楽しみを維持させているという。



上山 慎弥 氏

上山会員のご子息。福井で最も有名なダンサーの一人で、福井ナンバーワンのダンスチームの一員。DJとしても活動し、元小学校教師の経歴から子供たちからも非常に慕われている。

